

ラインレーザー伐倒方向指示装置

ガイドレーザー GUIDELASER

共同研究：秋田県産業技術センター（特許第 6249386）

事故防止
木材価値の低下防止
作業効率化
生産性アップ

かかり木「0本」と安全への挑戦。

伐採作業は非常に危険を伴う作業です。特に伐採した木が予想せぬ方向に倒れかかり、木の先端が地上まで落ちてこない状態である「かかり木」は、死亡をともなう重大な事故や木材の低品質化をまねきます。林業を行う当社では、以前より「かかり木を減らす問題」に取り組み、秋田県産業技術センターとの協力を得ながら試作開発を続けてきました。「ガイドレーザー」は、少しでも作業事故を減らしたい、木材価値を下げたくない、そういった現場の切実な声の中から生まれた製品です。

ガイドレーザー使用方法

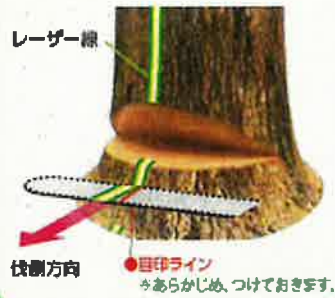
- 1** 本体を木にベルトで固定。「レーザーヘッド」を（横向き）に、本体を左右にずらしながら伐倒方向に合わせます。
- ※目撃付近のレーザー光が見えにくい場合、「受け口ガイド板」もレーザー反射板として使用します。



- 2** 「レーザーヘッド」を（上下）に振り、木の傾斜と合わせます。向きを（下向き）にします。
- ※レーザー線が受け口の中心にくるよう角度を微調整します。



- 3** 「目印ライン」と「レーザー線」を合わせながら受け口をつくります。
- ※必要に応じ「受け口ガイド板」で水平度や深さを確認します。



- 堅牢でスマートな専用アルミボディ
- 明るく見やすいクラス2グリーンレーザー
- 防水構造



■受け口ガイド板
受け口の水平度、方向、深さが確認できます。

モニターテストで かかり木「0本」の実績。

平成30年8月、秋田県の伐採作業従事者様のご協力をいただき、モニターテストを行いました。38人（20～60代）で1人5本（合計190本）の伐採テストを行った結果、かかり木は1本もなく、また作業の安全性が高まったとの高評価をいただきました。



イメージ写真

※価格および、製品の仕様外観は予告なく変更する場合があります。